

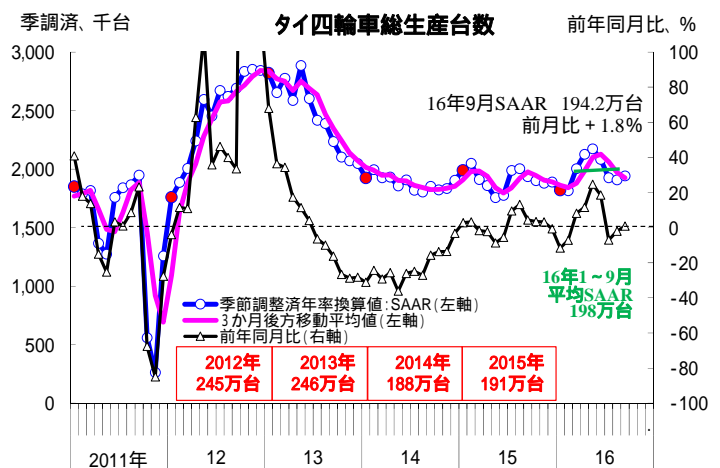
タイ自動車市場月次統計（2016年9月）

輸出減速に国王薨去に伴う内需停滞リスクが加わり、国内生産への下方圧力強まる

輸出減少の継続により、国内生産の基調は下向いたまま

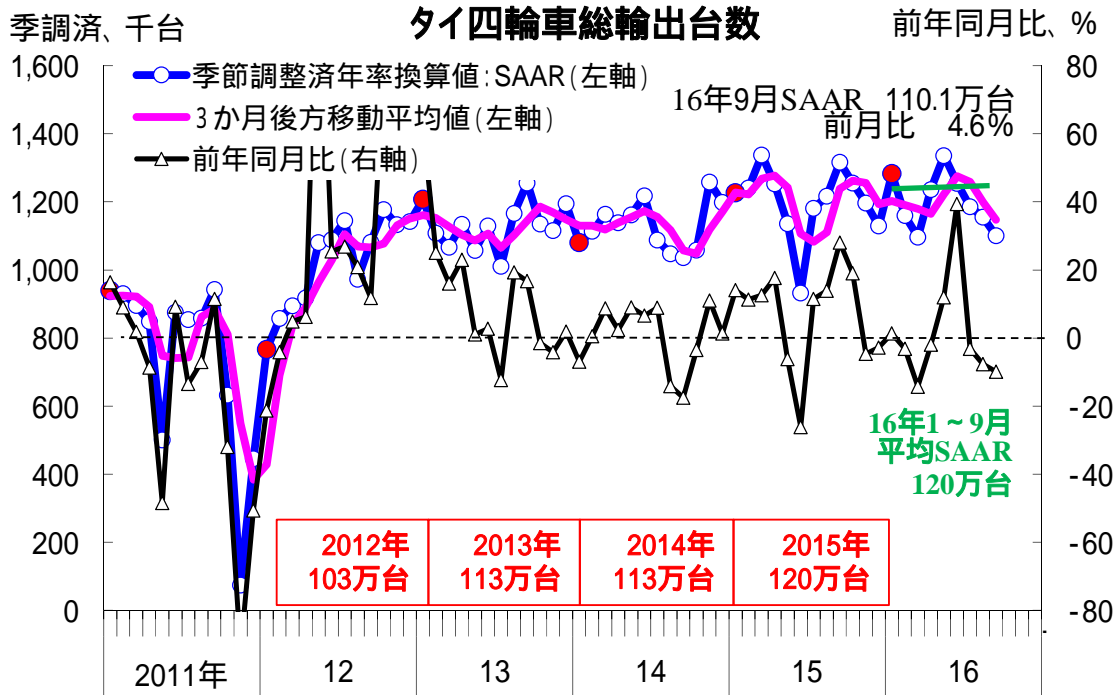
- ・タイ工業連盟(Federation of Thai Industries)が発表した2016年9月の四輪車総生産台数は、前年同月比0.9%増と3か月ぶりに前年比プラスとなった。季節調整済年率換算値(当社試算、以下SAAR)も前月比1.8%増の194.2万台と4か月ぶりに増加したが、3か月後方移動平均値でみたトレンドは下向いたままであり、軟調に推移している(図表1)。輸出の減速が足を引っ張る状況が続いている。国内販売は年率70万台後半の水準で安定推移しているが、10月13日のタイ・プミポン国王薨去に伴う、消費マインドの低下や販促活動の自粛により、10月以降の販売は当面、停滞する可能性が高い。16年1~9月の生産台数の平均SAARは198万台と、引き続き前年実績191万台を上回っているものの、減速が続く輸出に加え、下振れ懸念が発生した国内販売の停滞も生産の足かせになる公算であり、16暦年の生産台数が200万台に回復するのは厳しい状況となってきた。
- ・9月の総輸出台数は前年同月比9.9%減と3か月連続で前年割れとなり、SAARも前月比4.6%減の110.1万台と4か月連続で減少した(図表2)。原油及び資源価格の下落を起因とした中近東及びアフリカでの景気悪化と南米の景気低迷が、タイの自動車輸出に強い逆風となっている(図表3)。16年1~9月の輸出台数の平均SAARは120万台と、前年実績120万台と同水準となっているが、直近のSAARは3か月連続で120万台を下回っており、足元の減速基調が続き、16暦年の輸出台数が120万台を割る可能性が高い。
- ・9月の国内販売台数は前年同月比2.9%増と2か月連続で前年超えとなった一方で、SAARは前月比0.9%減の78.2万台と2か月連続で減少した。(図表4)。16年1~9月の国内販売の平均SAARは77万台と15暦年実績(80万台)を下回っており、直近の9月の販売台数には一服感もみられているが、年率70万台後半で底堅く推移している。9月の消費者信頼感指数は3か月連続で上昇しており、景況感の改善が国内販売の下支え要因のひとつとなっている(図表5)。
- ・5年前にインラック政権によるFirst Car Buyer Programme(初回購入者に一部税還付する自動車購入奨励策)で購入された車の買い替え需要が、本年9月以降に国内販売を押し上げていくと予想していたが、国王薨去に伴う消費活動の低迷が下押し要因となる公算大である。国内販売への影響がいつまで続くかは予測不可能だが、国内販売と国内生産での先行き不透明感が強まっている。

図表1 国内生産は減少基調が続く



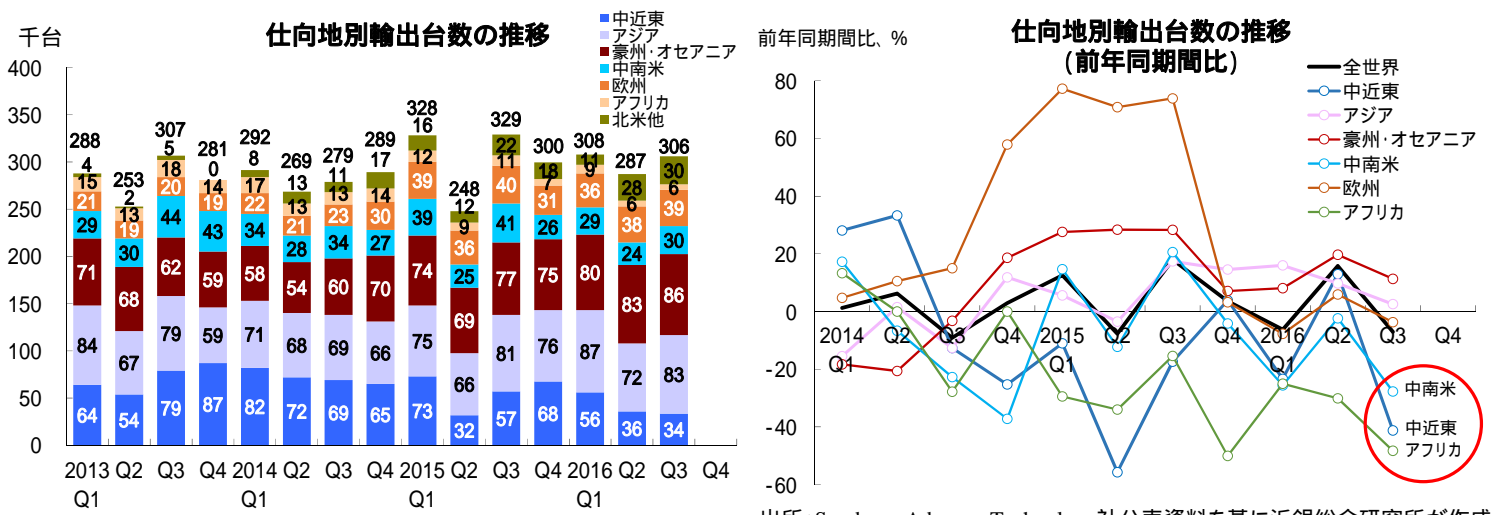
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表2 輸出台数 (SAAR) が4か月連続の減少

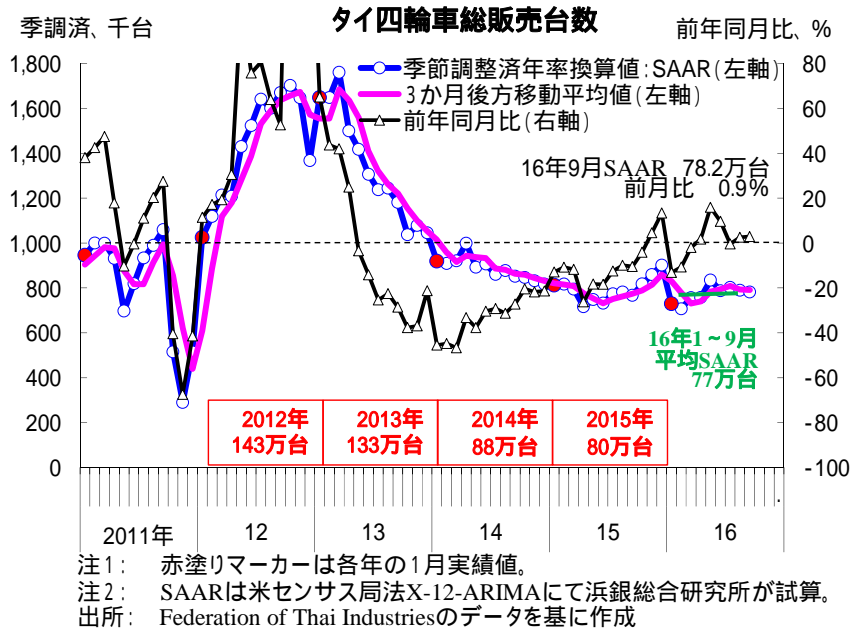


注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

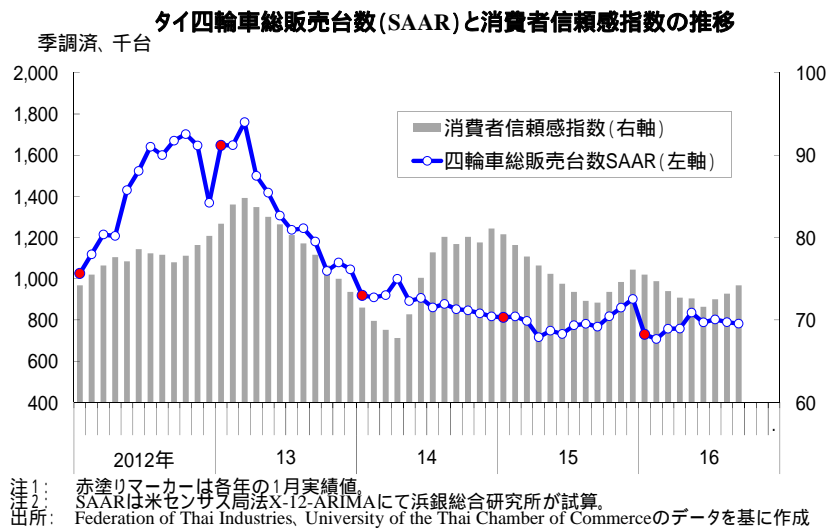
図表3 中南米、中近東、アフリカ向け輸出減少が足を引っ張る



図表4 国内販売 (SAAR) 70万台後半で安定推移



図表5 消費者信頼感指数は3か月連続の上昇



担当：調査部 産業調査室 深尾三四郎  
 Tel: 045-225-2375  
 Email: fukao@yokohama-ri.co.jp

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。